

====このお便りは私が担当する太極拳教室の皆さんに毎月お届けしています。====

トピックス 各教室で年度末表彰

担当各教室で、恒例の年度末表彰を行いました。亀戸スポーツセンター教室では第3期(1~3月)の皆勤者13名を表彰するとともに、昨年4月からの1年間の通算皆勤者3名(梅津勲さん、斉藤弘子さん、鈴木和子さん)と精勤者2名を表彰しました。梅津さんはこれで5年連続!の皆勤賞受賞です。瑞江鶴の会では、通年度皆勤者3名(藤城弘子さん、蟹谷幸子さん、東由記子さん)と精勤者3名を表彰いたしました。

東大島鶴の会では精勤者上位5名を表彰しました。また瑞江鶴の会から応援に来ていただいている師範の方々のうち藤城弘子さんが昨年度全回参加ということで、特別に表彰いたしました。

新日鐵OB会教室・代々木鶴の会では同じく精勤者上位3名を表彰いたしました。

それぞれの方々には私から“ほんの気持ちばかり”のグッズを贈らせていただきました。

第12回太極拳祭りに参加

さる3月6日(土)に台東リバーサイドスポーツセンター(台東区今戸)で開催された第12回太極拳祭りに参加しました。

この催しは本部道場中野教室の中野完二先生一門の教室による祭典で、今回も40教室から約500人が参加して盛大に、かつ和気藹々と行われました。私も本部道場中野教室のお仲間と一緒に参加しました。



準備運動などのほか、全員での表演に始まり、師範表演、

75歳以上表演、中野教室表演と4回も演じたので、いささかくたびれましたが楽しい一日でした。

日本健康太極拳協会・東京都支部のHP (<http://www.tokyo-taijiquan.com>) に詳

しい記事と写真が掲載されておりますのでご覧ください。【写真 上;中野完二先生の表演(露澤徹師範撮影) 下;75歳以上の表演(本部事務局山崎明雄氏撮影)】



健康妄語録 ALS囑託殺人事件の判決下る

この「雲の手通信」の2月号でご報告した囑託殺人事件の被告、菅野幸信さんに対する「懲役3年執行猶予5年」という判決が去る3月3日に横浜地裁でありました。“長年連れ添った妻を自らの手で死なせた苦悩、葛藤は想像の及ぶところではない”“裁判所はあなたに深い同情を感じています”とい

う裁判官の発言にこの裁判の難しさが現れています。確かに現行法の上では嘱託殺人罪ということになるのですが、この一連の事件の経緯を考えると、果たして刑法だけで裁いてしまうことが出来る問題なのかという気もいたします。

先に、「雲の手通信」2009年4月、第56号でご紹介した、同じALS患者の照川さんの例もそうですが、人口呼吸器や胃婁などの人工的な装置に頼って生きているケースについての終末措置への社会的な合意が無いために患者も家族も医療関係者ももどもに悩んでいるのが現状です。

より深い倫理的な観点も取り入れて、社会的な合意を形成しなければならない段階に来ているのではないかと思います。この事件でも、超法規的かも知れませんが「犯罪とまでは言えない、罪は科さない」ということには出来なかったのでしょうか。なぜなら、菅野さんはいずれにせよ他人には推し量ることの出来ない大きな重い苦悩を背負ってこれから生きてゆかねばならないわけですから。

左顧右眄～さこ・うべん～ (37) 【第5話 「道教」について】

楊名時先生は“太極拳は仏教、儒教、道教、の三本の柱からなる中国の精神文化であり、心と体を通して己れを表現する芸術である”と著書『太極この道を行く』の中で述べられておられます。また李天驥先生も著書『太極拳の真髓』の中で“(太極拳には) 中国古代の養生理論が取り入れられている。

「体松入静」「気沈丹田」「立身中正」「意念引導」等の太極拳の特徴は凡て中国道家(道教)の養生修練法と同じであり、中国古代の「吐納法」「導引術」の技術要領とも一致している”、“古典の太極陰陽学説と東洋医学経絡理論が取り入れられている。太極拳の名称自体は陰陽、易の原理を取り入れている”と述べておられます。

ということで、太極拳の背後にある中国の思想哲学宗教、なかんずくわれわれになじみの薄い「道教」について知る必要があると思い、少し勉強してみましたので、今回からしばらく連載いたします。

1) 道教の歴史

1～1) 太平道と五斗米道

道教は、他の国々と同様に、民衆の中で自然に興った自然宗教にその源流を求めることが出来ませんが、一般的には、「太平道」と「五斗米道」をもって「道教」の発祥としています。

「太平道」は河北省で張角(～184)によって組織された、「太平経」を經典とする宗教結社です。呪術的な病氣治療などで信者をひきつけ、さらには後漢時代の乱世の中でいわば人民民衆の不平不満を結集して、権力者を糾弾したアピールを行い、全国で数十万人の信者というか同志を糾合していっせいに蜂起しました。これが有名な黄巾の乱です。乱は曹操によって鎮圧されますが、これがきっかけとなって後漢帝国は急速に衰亡して、魏、蜀、呉の三国時代に移るわけです。

「五斗米道」は同様後漢の順帝(125～144)のころ四川省で張道陵(生没年不詳)が起こした宗教で信者に五斗の米を納めさせたことからこの名前となったといわれています。「太平道」と同じく乱世における人民民衆の不平や不安をくみ上げることにより次第に力をつけてゆきました。張道陵は丹術や長生術に優れよく病人を癒し、また神奇の術を使い、のちには仙人となって天に昇ったとされている、いわば道教の開祖です。その後、葛洪(283～343?)が神仙方術を「抱朴子」に表したことで、教義の基礎が出来たとされています。書家の王羲之(321～379)も「天師道」(「五斗米道」ののちの名前)の信者であったといわれています。また4世紀には江蘇省で「上清経」と呼ばれる經典群が編纂され、中でも、「黄帝内景経」は人体を大宇宙になぞらえて小宇宙として位置づけました。経絡や上丹田、下丹田などの概念もここに明らかにされたといわれています。